

工事名:城南幹線配水管布設替(第2工区)工事

[ 改良302 ]

	質問	回答
1	特記仕様書 第9条 ワンデーレスポンス試行工事にある③受注者からの協議等に対する「速やかな」回答はしていただけるのでしょうか。	富山市工事検査連絡会議土木部会の「工事監督におけるワンデーレスポンスの手引き」の回答期限の目安に基づき対応します。
2	工事条件明示書 10その他 18 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策が必要な場合」の指示について熱中症予防対策の観点からの考えを教えてください。	新型コロナウイルスへの感染拡大の防止には十分留意しつつ、こまめな水分・塩分の補給などにより熱中症の予防を実施する必要があると考えます。熱中症予防行動のポイントについては厚生労働省のHPに掲載されている『令和2年度の熱中症予防行動』を確認してください。
3	パイプインパイプ工法の採用に至るまでの協議及び図面の開示をお願いします。	現場状況を踏まえて城南幹線配水管布設替工事に最も適した工法を採用しています。 パイプインパイプ工法の採用に至るまでの協議及び図面はありません。
4	立坑内での東側に挿入する場合の支圧壁の設置について形状、位置の図面をお願いします。また、西側についてもお願いします。	東側に挿入する場合の支圧壁については、西側挿入用支圧壁と同等の形状で、立坑内に反転させた位置です。 西側支圧壁の位置及び形状については、設計図4Pに記載のとおりです。
5	支圧壁の設置数が1箇所ですが、東側、西側の挿入するので2箇所ではないでしょうか。	ご指摘のとおり、施工にあたり、支圧壁は2箇所必要です。 なお、設計積算については、設計書のとおり、積算してください。

	質問	回答
6	PN管の挿入設備について設計回数が1箇所ですが、東側、西側の挿入するので2箇所ではないでしょうか。	ご指摘のとおり、施工にあたり、PN管の挿入設備は2箇所必要です。 なお、設計積算については、設計書のとおり、積算してください。
7	発進側は工事ヤード、区画線による車線変更の設計になっていますが、到達側の管理どのように考え、設計に反映されておりますか。	到達側は開削施工となるため、開削施工時の車線規制を行う計画です。
8	パイプインパイプの到達側の管の確認方法の手順について指示をお願いします。	挿入管の到達に合わせて、到達側を開削し管を確認することとしています。
9	工区境は開削工事となっていますが、その1、その2を合わせて設計段階での手順を指示をお願いします。	工区界については、第1工区の挿入管到達後、第2工区にて開削接続することとしています。
10	エアモルタルの充填を行う場合の到達側の設計について回答をお願いします。	既設管内に新設管を挿入後、既設管と新設管の端部を閉塞し、充填確認用立ち上がり管を仮設する計画です。
11	工事条件明示書 1工程関係 4 「関係機関、自治体等の協議の結果、工程に影響を受ける特定条件」及び工期の設定は地元説明、施工協議、資材調達、施工進捗を踏まえ十分に検討されたものでしょうか。	工期については、地元住民等への説明、道路管理者、警察との事前協議、資材納期の確認及び工事内容を踏まえて設定しています。

	質問	回答
12	設計に既設管内清掃工とありますが、どのような作業になるのでしょうか。	パイプインパイプ工事の施工において、新設管の挿入を阻害するものを除去するための前処理作業です。
13	立抗箇所や夜間での騒音対策など考え仮設電源が必要と考えられるのですが、電気が降ろせる電柱は北側にしかない為、架空横断などで費用がかかると思われます。その費用は設計に反映されているのでしょうか。	共通仮設費に率計上されている一般的な騒音対策を行う計画であるため、仮設電源に係る費用は計上していません。
14	事前調査・事後調査にて建物や構造物と設計にあります。どのような調査なのか該当の建物や構造物のご指示をお願いします。	発進立坑に近接する南側商業店舗及び一般家屋の2棟について、「用地調査等業務費積算基準」に基づき建物等の事前及び事後調査を行うものです。